

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区スポーツセンター						
指定管理者	ピーウォッシュ・アシックススポーツファシリティーズ・東急コミュニティー共同事業体						
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 11 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	ー
施設所管課	教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	12	12	0	40	5	35	0	52
		令和6年度	令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数	12	21						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和6年度	令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
施設利用者数（人）	791,890	725,114				（プール休止期間）令和7年4月19日～7月27日、令和8年1月13日～令和9年3月31日（予定）
団体利用者数（件）	8,515	8,174				//
利用料金収入（円）	223,140,973	202,662,051				//

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和6年度	令和7年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	324,221,473	343,899,591	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	101,080,500	141,237,540				
	利用料金収入	223,140,973	202,662,051				
	その他収入						
	支出	332,956,057	335,404,722	0	0	0	
	職員人件費	150,934,035	151,807,815				
	光熱水費	0	0				
	修繕費	5,405,741	5,402,430				
	事業運営費	84,640,812	85,344,163				
	施設管理経費	43,192,469	43,009,314				
	その他経費	48,783,000	49,841,000				
	差引収支額	-8,734,584	8,494,869	0	0	0	
年度協定書で定める指定管理料		113,265,500	153,907,640				

5 管理運営状況に対する評価

項 目	評価視点	指定管理者に よる評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の 維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	×1	3 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					98 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	ご意見箱や利用者懇談会等により頂くご意見・ご要望、直接いただくご意見をとりまとめ、毎月実施される共同事業体会議において、迅速かつ適切な問題解決が行われるよう協議検討した内容を実際の行動に移して対応しております。 R7年度はプール中止期間（2クール計約7ヶ月）もあり、利用者の方々へ大変ご迷惑をお掛けしました。休止期間中においては陸上プログラムの追加や変更を行い、その他エリアをご利用いただけるよう努めました。今後も利用者ニーズを把握し、更なるサービス向上を図るとともに、安全・安心な施設運営に取り組んでまいります。
区（施設所管課）による評価	協定書に基づき、適正な管理運営および事務執行が行われています。 利用者は前年度より66,776人減少しましたが、プール緊急工事に伴う休止期間が主な要因であり、令和9年度のプール再開後には利用者数の回復・増加を期待します。また、利用者が自宅等で気軽にスポーツを楽しめるようYouTube動画配信を積極的に実施しており、視聴者数も順調に増加しています。引き続きコンテンツの充実を期待します。故障・修繕・事故等については、区への速やかな報告と迅速な対応がなされ、安全・安心な運営が確保されています。この体制が継続されることを望みます。一方、施設ルールの認識に職員間でばらつきが見られたため、研修等を通じた認識統一と利用者への一貫した案内が行われることを期待します。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

S

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）